

(令和2年7月27日)

< ワンポイントレッスン (実践編) >
(日経平均でみる年間変動率)

今回は、株価の変動特性についてです。下表は、日経平均の前年末値から当年末値までの上昇率(変動率(2))、当該年間高・安の変動幅を昨年末の日経平均で除した(変動率(1))です。株式は変動率の大きな商品ですが、それでも年末を起点とした一年間の変動率(変動率(2))は、意外と小さい年が多く、±10%以内に収まったのは、2001年～19年の19年間では、6回(年)、±20%以内では12回(年)になります。この中で、特に大きく動いたのは、2005年の郵政民営化、13年のアベノミクス初期、08年のリーマン・ショック。この時は、年間で40%以上の上昇・下落でした。

一方、変動率(1)は、結構大きく動いていて20%以下となったのは、この間2年(回)。今年コロナショックで、7月22日までの途中経過ですが、31.8%となります。

年間の安値で買って高値で売る、高値で売って安値で買い戻すようなことは「神業」ですが、それでも、マーケットの変動をうまく捉えることが重要なことを示しています。

(日経平均年間変動率)

(単位円、%)

年	前年末	日経平均年間		変動率(1)	年末	変動率(2)
	日経平均	高値	安値	高-安	日経平均	前年末比
2001	13,785.69	14,529.41	9,504.41	36.5	10,542.62	-23.5
02	10,542.62	11,979.85	8,303.39	34.9	8,578.95	-18.6
03	8,578.95	11,161.71	7,607.88	41.4	10,676.64	24.5
04	10,676.64	12,163.89	10,365.40	16.8	11,488.76	7.6
05	11,488.76	16,344.20	10,825.39	48.0	16,111.43	40.2
06	16,111.43	17,563.37	14,218.60	20.8	17,225.83	6.9
07	17,225.83	18,261.98	14,837.66	19.9	15,307.78	-11.1
08	15,307.78	14,691.41	7,162.90	49.2	8,859.56	-42.1
09	8,859.56	10,544.22	7,054.98	39.4	10,546.44	19.0
10	10,546.44	11,339.30	8,824.06	23.8	10,228.92	-3.0
11	10,228.92	10,857.53	8,160.01	26.4	8,455.35	-17.3
12	8,455.35	10,395.18	8,295.63	24.8	10,395.18	22.9
13	10,395.18	16,291.31	10,486.99	55.8	16,291.31	56.7
14	16,291.31	17,935.64	13,910.16	24.7	17,450.77	7.1
15	17,450.77	20,868.03	16,795.96	23.3	19,033.71	9.1
16	19,033.71	19,494.53	14,952.02	23.9	19,114.37	0.4
17	19,114.37	22,939.18	18,335.63	24.1	22,764.94	19.1
18	22,764.94	24,270.62	19,155.74	22.4	20,014.77	-12.1
19	20,014.77	24,066.12	19,561.96	22.5	23,656.62	18.2
20	23,656.62	24,083.51	16,552.83	31.8		

注1. 変動率(1) = (日経平均年間の高値 - 同安値) / 前年末日経平均 × 100

変動率(2) = (年末日経平均 - 前年末日経平均) / 前年末日経平均 × 100